MYU GUIDE 2020

宮城大学 大学案内 2020

Contents

MYU TOPICS
Mission, Philosophy, History
President's Message
Freshman Core Classes
Department Studies
School Index
Nursing
Business Planning
Regional Sciences
Value-Creating Design
Food Resource Development
Food Science and Business
Global Exchange
Graduate School
MYU SUPPORT FOR STUDENTS
MYU CAMPUSES
OPEN CAMPUS 2019
Routes to Campuses

世界は今，大きな転機を迎えています。その情勢に可能性を見出し，高度情報化する社会で
未来を切り拓くには，考える力や創り出す力がこれまで以上に必要です。
宮城大学には，これからを生き抜く力を養う幅広い選択肢があります。
地域の課題解決に実際のフィールドで取り組むプログラムや，グローバル企業での本学独自の
現地実習およびインターンシップ，看護・事業構想・食産業の分野で他大学や地域と協働する講座など，
それらを通して今も学生一人ひとりが実践的に学んでいます。
あなたは地域や国際社会とどのようにかかわり，どのような生き方をしたいですか？
現場へ飛び込み，ぜひ一緒に考えましょう。

Contents

03 MYU TOPICS
11 建学の精神・大学の理念・沿革
12 学長メッセージ
13 フレッシュマンコア
17 学群・学類での学び
18 学群インデックス
21 看護学類
25 事業プランニング学類
29 地域創生学類
33 価値創造デザイン学類
37 食資源開発学類
41 フードマネジメント学類
45 国際交流・海外ネットワーク
46 大学院
データ（学生数／入学金・学費・奨学金）
47 MYU SUPPORT FOR STUDENTS
49 キャンパス紹介
50 オープンキャンパス 2019 ／アクセス

MYU TOPICS

2018−2019 / MIYAGI UNIVERSITY TOPICS　みなさんにお届けしたい，宮城大学の旬な話題をご紹介します。

TOPICS 01

学生の主体的な学びとチャレンジの拠点として，リニューアルされた大和キャンパス

大学は知識を身につけるだけでなく，それらを実践で活かすための思考力を養う場として期待されています。宮城大学では，このような主体的で対話的な深い学び（アクティブ・ラーニング）に学生が取り組みやすい環境を提供するため，2018 年に大和キャンパスをリニューアルしました。
分散していた学群の学びに必要な機能を同じフロアに集約するなど，本部棟・交流棟のフロアごとにゾーニングを変更（施設の見直し）。学生同士が学びあえる環境をより進化させました。また，地域連携センターやキャリア開発室など地域社会とつながりをもつセクションを有機的にリンクさせ，地域コミュニティと連携していく機能も強化しました。
今回のリニューアルにより，学内外との連携による新たなイノベーションと，学生だからこその柔軟なアイデア，様々なチャレンジが生まれる拠点が完成し，学生同士の自発的な活動が展開し始めています。

TOPICS 02

宮城県美里町をフィールドに地域課題を実践的に解決する学修プログラムを実施

宮城大学では，地域が抱える多様な課題の解決や，コミュニティづくりに貢献できる人材として「コミュニティ・プランナー」の育成に取り組んでいます。2018 年度は宮城県遠田郡美里町の宿泊・交流施設である「でんえん土田畑村」を実習先として授業を行いました。各学群の 2 年生が中心となり，フィールドワークやグループ演習といった学びを通して地域資源の利活用・交流促進に向けたアイデアを検討しました。
最終講義では，検討成果をもとに作成した計画を町へ提出。実際の地域課題を扱うことで，実践的な分析力や企画力を修得することを目指しています。

TOPICS 03

グローバルに活躍できる人材を育てる課題解決型の海外研修

「リアル・アジア」は，将来グローバル人材となる自信を醸成し，語学や異文化に対する自律的な学びを促進するため，東南アジアを舞台に行う短期研修です。教職員が同行し，約 2 週間現地協定校での文化交流や現地企業，少数民族訪問などを通して，アジアの生の姿に触れ，アジアをまるごと実体験します。
プログラム参加にあたっては，渡航前の事前研修を十分に行うほか，研修中は PBL（課題解決型学習）を行い，単なる視察ではなく，各自が課題を発見し，これまでの知識や経験から課題解決に取り組む実践的な内容となっています。語学修得や異文化交流にとどまらず，就職後や，社会で役立つ能力を修得することができます。

TOPICS 04

集い，つながり，学びあう。学生のための新たな“学び場”4つのコモンズがオープン

学生が自由に気軽に集うなかで学びを深める空間として，大和キャンパス本部棟に4つのコモンズを開設しました。
「スチューデントコモンズ」は，机や椅子を自由にレイアウトでき，軽食をとりながら，規模を問わずミーティング等をいつでも気軽に行うことができます。
海外留学や語学試験などの相談もできる「グローバルコモンズ」は，英語をはじめとした語学教材や海外放送，海外雑誌が揃っており，異文化に触れたい人や，留学生に最適の場所です。
約13万冊の蔵書を誇る図書館は，学生同士のミーティングやイベントを開けるスペースができ，静寂とワイガヤが共存する「ディスカバリーコモンズ」に生まれ変わりました。
「データ＆メディアコモンズ」には，パソコン学修を想定して各机にコンセントが配置された少人数学修空間「オープンスタディ」，多様なPCソフトウェアとプリント機器が使用できる「デジタルリサーチ」，さらに4Kの高画質映像と7.1chサラウンドの音響設備が整う「メディアシアター」，「サポートオフィス」という4つの機能を集約しました。
学生同士が自由につながり，学びを深めるコモンズの整備は，太白キャンパスにも拡大しています。
また，2019年度内完成を目指し，（仮称）デザイン研究棟の建設もはじまります。宮城大学は学生のために，新しい学修スタイルに対応した教育研究環境を，今後も一層充実させていきます。

TOPICS 05

働く現場で自分の適性を確かめる宮城大学モデルのインターンシッププログラム

実践を通じて「働くこと」の意義や役割を学び，自分の適性を見極める学外研修「インターンシップアドバンストコース」。これは，宮城大学が宮城県内企業，自治体と協働して独自に開発しました。早期に職業観を形成し，就労への価値意識や地域社会への理解を深めることで，大学での学びの質を高めます。

TOPICS 06

食産業学群の坪沼農場が持続的な安全と環境を保証する「グローバルGAP認証」を取得

食産業学群の坪沼農場は，全国の大学で3番目となる「グローバルGAP認証」を取得。グローバルGAPとは，国際的に認められている認証基準の一つで，農業において「食品安全」「環境保全」「労働安全」等の持続可能性を確保した農業生産工程管理（GAP；Good Agricultural Practice）の取り組みのことです。グローバルGAP認証を取得するためには数多くのチェックリストの項目をクリアして，生産工程に潜むリスクを少なくしなければならず，どのようなリスクがあるかを自らが考え続ける必要があります。食産業学群では，グローバルGAPの取り組みを通して，今，世界で求められている「食の安全」を知り，社会で活躍できる人材の育成に力を入れています。

TOPICS 07

他大学，地域の病院と連携して「協働」を学ぶ専門職連携教育（IPE）

専門職連携教育（IPE；Interprofessional Education）は，チーム医療や多職種連携のために必要な能力を，多職種が共に学んで養う体験学習型のカリキュラムです。看護学群では2016年度から東北医科薬科大学病院および東北医科薬科大学薬学部と連携し，IPEを開始しました。
他大学のみならず地域の病院と連携するIPEは本学独自の取り組みです。病院で行うクリニカルIPEは，臨地実習で薬学生と看護学生が同じ患者を受け持って共通の目標を検討。合同模擬事例検討会では，両学部の混合学生グループを組み，支援目標と支援方法を議論します。これらの経験を通して，多職種連携の重要性や専門性の違いを理解し，協働の能力を磨きます。

TOPICS 08

世界で活躍する企業から生産現場の知恵と課題解決力を学ぶトヨタ講座

産学連携講座は，国内外で活躍する企業や団体と連携し，卒業後に社会で活躍するための知識や関心，創造力を養う講座です。現代の日本，地域社会を支える産業の歴史や今後の展開，課題解決の取り組みを企業の方々から直接学びます。大学近隣に日本を代表する企業があることから，2018 年度はトヨタ自動車東日本株式会社の本社・宮城大衡工場と本学で行いました。トヨタの東北進出の理由，地元企業との相互研鑽活動，職場改善の取り組みや，上手く・早く・リーズナブルに高品質なクルマをつくるための開発・生産準備・生産が三位一体となった取り組みなど，現場の知恵と工夫を活かした改善を学びました。

TOPICS 09

資生堂ジャパンとマーケティングゼミが協働「ワタシプラス」の戦略立案

事業構想学群マーケティングゼミでは，資生堂ジャパン株式会社が運営する美容サイト「ワタシプラス」の協力を得て，若年層の EC（electronic commerce：電子商取引）における化粧品選択行動調査を実施。マーケティングリサーチの実務について学ぶとともに，リサーチ結果を基にした戦略立案を体験。学生をターゲットとするマーケティング活動に学生の視点から提言を行い，協働しながら学ぶ実践的な機会となりました。

TOPICS 10

健康行動を支援するアプリを開発産学官金連携フェアに出展

看護学群の菅原亜希助教によって開発された，循環器疾患の再発予防を支援する健康管理アプリ「からだダイアリー」を産学官金連携フェア 2019 みやぎに出展しました。狭心症や心筋梗塞といった虚血性心疾患をもつ患者の再発や心不全を予防し，健康行動を支援する目的で開発。展示会を通じて企業，学術機関，虚血性心疾患をもつ患者と意見交換し，共同開発や共同研究，事業化の提案を受けるなど，研究の進展が今後も期待されます。

TOPICS 11

風見研究室が東松島市と協働基本構想から携わった「森の学校」がグッドデザイン賞

宮城県東松島市では，東日本大震災の津波による被害を受けた公立小中学校の再建が急務となりました。そのような状況下，行政，市民，子どもたち，学校関係者，多様な専門家の参画により，「森の学校」をコンセプトとした東松島市立宮野森小学校の再建が進められ，風見正三研究室が基本構想・基本計画策定に携わりました。自然・地域との共生をテーマとし，高台移転・統廃合を経て小学校が再建されたこれらのコミュニティデザインの取り組みは，2017 年度グッドデザイン賞を受賞しています。宮城大学と地域との協働から，持続可能な社会をつくる基盤としての「学校」を再構築する，先進的な試みが実現しました。

TOPICS 12

大崎市との連携事業で企画展体験型のメディアアートを展示

宮城県大崎市と宮城大学との連携事業として，大崎市民ギャラリー「緒絶の館」にて「まにまに展」を開催しました。これは事業構想学部デザイン情報学科の学生たちによる企画展。鑑賞者の動きをセンサーが感知すると，それに合わせて空間に変化が起こるなど，様々なデジタル技術が用いられた体験型の作品展示です。子どもからお年寄りまでたくさんの方に来場いただき，幅広い地域のみなさんに楽しんでいただきました。

TOPICS 13

学生間，教員間で学びを共有する高校・大学連携プログラム

宮城大学では，高校と大学との連携を通じ，世代の異なる学習者同士の学びと教職員相互の教育力向上を目指しています。例えば，大学での深い学びを体験するアカデミック・インターンシップに高校生を招いたり，大学ゼミで行われる探究活動のノウハウを高校教員と共有するなどしています。また，高大連携シンポジウム等，高校・大学教員がそれぞれの立場で意見を交わす機会をつくるなど，高校にとって身近な大学を目指しています。

MYU TOPICS【地域・産学連携の取り組み】

TOPICS 14

パリ装飾美術館による「ジャポニスムの150年」展に土岐教授の漆作品を出展

パリ装飾美術館で開催された「ジャポニスムの150年」展に，事業構想学群の土岐謙次教授の作品「七宝紋胎乾漆透器（しっぽうもんたいかんしつとうき）/Shippomon Vessel」が出展されました。土岐教授は，日本の伝統的漆工芸とデジタルデザイン技術の融合による新たな工芸・アートワーク・デザインを研究しており，本出展作は，デジタル技術によって立体化した造形を1300年の歴史を持つ乾漆手法で表現した，意欲的な漆造形作品です。なお本展では，150年にわたる日仏両国の芸術上の相互影響に着目。パリの装飾美術館の10,000点を数える日本美術コレクションから厳選された作品を中心に，日本作品や日本の影響を受けて欧州で制作された作品が紹介されました。

TOPICS 15

学生自らプレゼンテーション！せんだいメディアテークにてデザイン情報学科卒展を開催

事業構想学部デザイン情報学科の空間デザインコースおよびメディアデザインコース4年生が取り組む卒業研究は，4年間の学びの集大成。学生自身が関心のあるテーマを設定し，それぞれの専門性を最大限に発揮します。その成果を社会に発信する目的で，2018年度も卒業制作展示会（卒展）がせんだいメディアテークで開催されました。卒展は，大学院事業構想学研究科修士制作展との同時開催。会期中は外部のゲスト講師を招き，学生によるプレゼンテーションも実施。活発に意見が飛び交い，学生・教員ともに刺激し合える場となりました。

TOPICS 16

西川教授がDHAに関する研究で日本脂質栄養学会のランズ賞を受賞

「魚を食べると頭が良くなる」という歌が，以前よく流れていましたが，それには魚に多いDHA成分が関係しています。食産業学群の西川正純教授は，「ドコサヘキサエン酸（DHA）の中枢神経に及ぼす影響〜イオンチャネルからのアプローチ〜」の研究で，日本脂質栄養学会第27回大会でランズ賞−栄養功労賞を受賞。記憶は，脳内のグルタミン酸が神経細胞間で情報を伝えて形成され，神経細胞の近くにDHAが存在すると記憶の情報がスムーズに伝わることを明らかにしました。

TOPICS 17

「霜降り」肉の解明と遺伝子群の制御に挑む須田教授の研究が伊藤記念財団賞を受賞

生クリームのように口の中でとろける和牛肉の「霜降り」。その形成メカニズムは謎ですが，環境と遺伝子の無数の働きかけによるものだと考えられています。食産業学群の須田義人教授は，環境情報をゲノムに伝えるDNAメチル化や化学修飾機構を読み解き，分子レベルでの霜降り肉解明と遺伝子群の大規模制御をテーマとして研究。その成果が評価され，第3回伊藤記念財団賞を受賞しました。

TOPICS 18

仲間と一緒に「食」を学び「地域」と出会う，新入生交流事業

「学生同士のコミュニケーション」をテーマとした，新入生のための「コンボケーションデイ」。春はパラスポーツであるブラインドサッカーを通じて仲間と支え合うことの大切さを，秋には地域の食に関する企業や団体を訪問し，宮城大学と地域社会との結び付きや「食へのこだわり」をそれぞれ学びました。同時開催された太白キャンパス探検ラリーの得点上位3グループには，「太白キャンパス産のお米」が贈呈されました。

TOPICS 19

学園祭を盛り上げる演出アイデアで三石ゼミが模擬店コンテスト3位入賞

食産業学群の三石ゼミは，学園祭での模擬店の装いとメニューを競うブルドックソース株式会社主催の「お好み屋さんになろう！プロジェクト2018」に参加。「老舗風の店構え」でユニークな店舗装飾とお好み焼きを演出し，同デザインコンテストで見事2年連続の3位入賞となりました。学園祭では，三石ゼミをはじめ学生による様々な趣向が毎年こらされています。

ホスピタリティとアメニティの究明と実現

Mission

建学の精神

快い生活環境（アメニティ）に身を置き，
心温まる人間関係（ホスピタリティ）に
囲まれていることは成熟社会に生きる万人の願いであり，
このような地域社会を実現させるために
「ホスピタリティとアメニティの究明と実現」を目指す。

この建学の精神に則り，宮城大学では，社会の要請に応えるために
関連するあらゆる学問や技術の成果を総合化する「高度な実学」
に基づく教育研究を推進することとし，次のように大学の理念を定める。

Philosophy

大学の理念

高度な実学に基づき，
豊かな人間性，高度な専門性及び確かな実践力を身につけ，
グローバルな視点で地域社会の発展に貢献できる人材を育成するとともに，
学術・文化の向上と豊かで活力のある地域社会の形成に寄与する。

豊かな人間性	先人たちの考えや相手の価値観を尊重し， 知性と感性を涵養することで自らの人間性を磨いていく。
高度な専門性	関連するあらゆる学問や技術に関心を寄せ，自らの専門性を高め， 時々刻々と変化する社会にしなやかに，かつ，柔軟に対応できる力を身につける。
確かな実践力	地域に根ざし，グローバルな視点で自ら主体的に考え， 強い意志を持って実践していく。

沿　革　History

平成 5 年	4 月	宮城県企画部県立大学設置準備室設置
	6 月	宮城大学創設準備委員会設置
	7 月	宮城県総合計画の戦略的プロジェクトの一つとして，県立宮城大学の整備を明示
平成 8 年	12 月	宮城大学条例制定／宮城大学設置認可
平成 9 年	4 月	宮城大学開学［看護学部・事業構想学部］
平成 13 年	4 月	宮城大学大学院（修士課程）設置［看護学研究科・事業構想学研究科］
		宮城県農業短期大学 4 年制化基本構想検討委員会を設置
		（宮城県農業短期大学創立は昭和 27 年）
平成 17 年	4 月	宮城大学食産業学部設置
平成 20 年	4 月	宮城大学大学院（博士課程）設置［事業構想学研究科］
平成 21 年	4 月	公立大学法人宮城大学設立
		宮城大学大学院（修士課程）設置［食産業学研究科］
平成 22 年	4 月	宮城大学大学院（博士課程）設置［看護学研究科］
平成 25 年	4 月	宮城大学大学院（博士課程）設置［食産業学研究科］
平成 29 年	4 月	宮城大学学部改組により学群・学類制へ移行

時代とともに，変革し続ける学び場を。

今，世界は大きな変化の予兆に戸惑いを隠せずにいます。米中関係をはじめとした国際関係の変化や人工知能技術などが引き起こすイノベーションによる社会経済の変化などです。これらを見通すことは難しく，このメッセージを書いている今の私の認識が，このメッセージを読む時点の人々の認識と一致すると自信を持つことにすら困難を覚えます。大学はこういった変革の時代を生き抜くことのできる人材を育てていかなければなりません。

宮城大学は，開学以来，実学を尊重し，実践的な教育を行うことを信条としてきました。その結果，社会で役立つ多くの人材を輩出し，社会の発展に貢献をしてきました。しかし，このような社会の大きな変革を前にこれまでの教育のまま立ち止まっていては時代に取り残されることになります。

このため，2017 年度から本学は大学の学びの土台となる基盤教育の充実に取り組んできています。必修科目群「フレッシュマンコア」を設け，少人数によるセミナー形式の授業等を通じて，豊かな人間性と学び続ける力を養います。このような土台の上に実践に基づく知識を身につけることで，社会で即戦力として通用し，かつ，将来にわたって環境変化に対応できる人材となる高い能力を持つことができます。

また，2018 年度から，学生の自主的な学びを促進する新たな取り組みを開始しました。大学での学修は，教員が主導する課程に留まらず，自ら，または教員や他の学生とともに主体的・能動的に学ぶ姿勢が不可欠です。そのような学修を後押しするため，『ラーニング・コモンズ』をはじめとして，講義や演習・実習といった課程にとらわれない学修の場の提供を開始しました。まず，大和キャンパスにおいて 4 種類のラーニング・コモンズを整備し，引き続き，太白キャンパスにも拡げて，順次整備を行っていくことにしています。

さらに，2019 年度内完成を目指して，大和キャンパスでは開学以来はじめてとなる新棟の建設を開始しました。過去，日本はものづくりの力によって発展をしてきましたが，様々な意味合いのデザイン力が競争力を左右する時代になり，日本経済の勢いがそがれています。こうしたことを踏まえ，新棟は，デザイン分野の教育研究環境を整えるものとしますが，キャンパス施設の床面積の拡大は，ことデザインに留まらず，太白キャンパスを含めた全学の教育研究環境の充実につながるものになります。

これらに留まらず，宮城大学は時代に沿った変革に果敢に取り組んでいきます。

理事長兼学長 川上伸昭

1・2年次で学ぶ基盤教育の主要な科目群

フレッシュマンコア［全学群共通：必修］

専門分野への学びへつなげる。そして視野を，可能性を大いにひろげられるように。
“学ぶ”“考える”土台づくりから，いっしょにはじめます。

これからはじまる新しい自分に，核となる力を

全ての基盤となる言語スキル，
数量スキル，情報スキルを身につけます。

基本的なトレーニングを通して
思考力を高めます。

「自己理解」「他者理解」を
深めながら実践力を養います。

フレッシュマンコアとは，1・2年次で学ぶ基盤教育の主要な科目群であり，
全学共通の基盤教育必修科目群です。
豊かな人生を送る上で必要な「技法知」「学問知」「実践知」を養います。
専門分野への学びに繋げていくだけに留まらず，
その先を見据え，自分の未来を切り拓いていくための指針を，
フレッシュマンコアを中核とする基盤教育を通して身につけていきます。

Student Voice

「考える」を学ぶ能動的授業。

前期のスタートアップ・セミナーで学んだディスカッションやプレゼンテーションの仕方を活用し，後期のアカデミック・セミナーでは，主にディベートを通して学修しました。
実際にディベートに参加してみることで自分の考えや意見を整理すること，そして筋の通った根拠を述べることなどより深く学べたと実感しています。こうしたグループワークを通して自分の考えを深めて，クラスメイトと互いに高め合えるのは，単なる座学では学ぶことができないこの授業の良さだと思います。

菊地亜美さん
山形県立山形北高等学校出身

専門的な学びへの貴重な1年。

地域フィールドワークの授業で訪れた，東日本大震災で津波の被害を受けた地域では，復興をいかに成功させたかについて直接聞く機会に恵まれました。復興のために安心できるまちづくりをめざして企画・実行してきた方々の姿を通して，自分が将来どうなりたいかを真剣に考えるとても良い経験になったと思います。
私は今後，事業プランニング学類に進みますが，将来の目標をより現実的なものにするために，1年間基盤教育で学んだことを次の学びに活かしていきたいです。

山口祐典さん
仙台市立仙台青陵
中等教育学校出身

幅広く，そして偏りなく，多様な学びを積み重ねていきます。

4年間は長いようで，あっという間に過ぎてしまいます。4年後の成長した自分をイメージして大学生活をスタートさせることが重要です。そのためには，受験勉強とは違う大学での学びの作法を身につけることと，自分と社会を見つめることで自分の将来に見通しを持ち，自身の大学での学びの意義づけを自ら行うことが必要です。そのためにフレッシュマンコアがあります。

大学での学び入門　1年前期1単位

大学での学びでは，自らが学ぶべきことを見出す必要があります。大学での学び方，さらには生涯を通じての学び方を身につけることを目的として，学ぶことの意義を考え，学ぶために必要な学修方法や協働での学びに必要なスキルを磨きます。

宮城大学の知の体系　1年前期2単位

3つの学群での教育・研究内容とその方法論，実社会への適用を学び，宮城大学と3学群のミッションを理解していきます。その過程で，自分の学びの社会的意義を改めて考え，専門での学びを主体的に考える機会としていきます。

キャリアデザインⅠ　1年後期1単位

「自分は何者であり，これからどのような道を歩んでいきたいのか」を考えます。様々な分野で活躍している講師の話を聞きながら自分の生き方・考え方を振り返り，自己の特性について客観的に把握するとともに，キャリア形成に対する意識を高めていきます。

社会の中で生きる　1年前期1単位

社会の基本的な仕組みを理解しながら，社会への自分の関わり方を考えます。幸福・正義などの観点から社会の構成を知り，そこでの自身の役割と責任を考えながら，良識ある公民としての自覚を養っていきます。

スタートアップ・セミナー　1年前期2単位

大学での基本的な学習スキル（読解，情報収集・整理，レポート作成）を課題解決型の演習によって身につけます。また，少人数のグループワークを行うことで，他者と協働して学びながら課題に取り組む姿勢を養います。

アカデミック・セミナー　1年後期2単位

スタートアップセミナーでの学びを基にして，深い思考力と論理的に説明する方法を学びます。グループワークでは相手の意見を理解し，根拠に基づいた意見や情報を発言・発信し，グループでの課題解決力の向上をめざします。レポート作成では論理的な文章力を養います。

Classes【授業紹介】

地域フィールドワーク　1年前期2単位

実際に自分の足で歩き，地域で様々な人々に接して調査することで地域の課題を理解し，「自分が地域社会でどのような役割を担えるか」を考えていきます。

1. 講義
フィールドワークの目的・意義／課題の見つけ方など

2. グループ演習
情報収集／ディスカッション／課題設定など

3. フィールドワーク
聞き取り／地域課題の明確化

4. グループ演習／発表
地域課題の調査分析／課題解決に向けた取り組みの提案

「フレッシュマンコア」の科目で大学での学びの基礎を築きます。
強固な知的基盤の上に専門の学習を積み上げましょう！

大学での学びでは答えのない問題に取り組む，ということはよく聞く言葉ですが，実はそもそも何が問題なのかさえもはっきりしない課題に取り組むこともしばしばあります。そこで必要になってくるのは，現場で起こっている現実から何が問題であるかを抽出し，問題の構造を分析し，解答を出し，解決策を実行していくことであり，そのための基礎力を大学入学後の早い時期に育成することは極めて重要です。宮城大学では基盤教育を重視していますが，その中でも特に大切な科目群は全学共通の必修科目である「フレッシュマンコア」として位置付けています。「フレッシュマンコア」では，問題の発見や理解のための基礎力となる言語スキル・数量スキル・情報スキルなどの「技法知」，物事を正しく深く思考することができるための基本となる「学問知」，自らが主体的に動き他者と協働して行動し成果をあげるための「実践知」を学びます。「フレッシュマンコア」では，講義を聞くという一方向での学びだけではなく，スタートアップセミナーやアカデミックセミナーのようにクラスでディスカッションしながらの学びや，地域社会の現場に出かけて地域住民や実践家から学ぶ地域フィールドワークなど，多様なスタイルでの学びを通して，大学生活4年間のみならず，一生役に立つような自分自身の知的基盤を構築します。

基盤教育群 群長
川村保教授

学群・学類での学び

宮城大学では，2017 年度入学者より，学群・学類制による新たな教育を展開しています。このことにより，学類の垣根を越えてバリエーション豊かな専門教育が受けられるようになりました。
また，入学者の募集単位も「学群単位」「学類単位」の２つを設定しています。

一般選抜と推薦入試は，「学群単位」の募集となりますので，事業構想学群と食産業学群の学生は，入学後１年間をかけてじっくりと自らが進む専門分野（学類）を選択し，１年次の終わりに配属する学類を決定します。（看護学群は１学類のため，全員が看護学類で学ぶこととなります。）

看護学群	事業構想学群	食産業学群
看護学類	事業プランニング学類 地域創生学類 価値創造デザイン学類	食資源開発学類 フードマネジメント学類

●大学に入学する前に学びたい分野が決まっている

●大学に入学してから学ぶ分野を決めたい

※看護学群は１学類のため，全員が看護学類で学ぶこととなります。

学類配属について （一般選抜・推薦入試で入学された方）

所属学群ごとに，学生一人ひとりが自分としっかり向き合いながら，担当教員と一緒に１年かけて考えていきます。
１年次の学修成果（１年次の成績や希望学類に関するレポート，面接等を予定）による選考を行い，学類配属を決定していきます。

オリエンテーション［4 月］	学群・学類による４年間の学びを見通し，学類配属にかかるスケジュールや手続き等について説明します。	予備調査・面談［4〜1 月］	希望学類についての予備調査を複数回実施します。予備調査の結果等を踏まえ，担当教員と面談を重ねながら，それぞれの興味や関心に合った専門分野（学類）についての理解を深めていきます。
学類配属ガイダンス［11 月］	前期試験の成績発表を受けて，学類配属についてのガイダンスを実施します。	希望学類の届出・学類配属の決定［2〜3 月］	後期試験の成績発表後，２月から３月にかけて希望学類の届出を行います。選考の結果，最終的な学類配属は３月末に決定します。

※スケジュール等は変更になる場合があります。

School of Nursing

看護学群

看護学類 入学定員 95 名

入学者に求める能力

(1) 人や地域社会，看護に関心を持っている人
(2) 人の喜び，苦しみを分かち合える温かい思いやりを持ち，人との関係を大切にできる人
(3) 科学的探究心を持ち，主体的かつ柔軟な発想で取り組むことができる人
(4) 国の内外を問わず，看護学を通して地域社会に貢献しようと思っている人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

看護学群は，生命の尊厳を基盤とする豊かな人間力を備えて，科学的思考とマネジメント能力を持ち，ヒューマンケアを中核とした創造的な看護を展開し，地域の人々，多分野・異文化の人々と協働して学際的に活躍できる人材育成を目指しています。

めざせる資格・免許等

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格（選択）
- 養護教諭一種免許状（選択）

卒業時に取得できる資格・免許は，「看護師国家試験受験資格」が全員，保健師教育課程を選択した学生は「保健師国家試験受験資格」，養護教諭教育課程を選択した学生は「養護教諭一種免許状」を取得できます。

ニーズに応じた最良のケアを提供できる看護専門職を，共にめざします。

看護学は，人を対象とした学問です。生命誕生，子どもから青年へと時を重ね，社会人となり，自分も親になり，高齢者となり，いつかは死を迎えます。看護職には，このようなライフステージに即した健康に関する個々のニーズに対して，最良の看護ケアを提供することが求められています。一人ひとりは，異なる存在であり，健康問題の予防や解決に向けてのプロセスも様々です。したがって，良い看護を提供するためには，相手を理解して，何が必要かを考え，答えを導き出し，それを柔軟に実践していくことが必要です。
本学では，看護専門職として基礎能力の養成に加えて，思考力，柔軟さ等，看護の専門性を発揮するために必要な人間性を養うことも重視しています。看護職としての自己のキャリアを展望しながら，看護学を学修できるようにサポート体制をつくり，一人ひとりのキャリア形成も支援しています。

看護学群 学群長
原玲子教授

看護学類

看護学の基盤となる知識・技術を身につける「専門基礎科目」と，
看護学の専門性を深め，拡げる「専門科目」を学年進行に沿って体系的に配置しています。

国際看護プログラム

グローバルな看護職を目指す学生のためのプログラムです。学生が各自ポートフォリオを作成しながら，所定の英語科目と看護専門科目により４年間学び続けます。「実践看護英語演習」では，海外の大学の看護プログラムや医療機関で２週間の研修や学生交流を行います。国際交流を通じて看護学の面白さをさらに実感できます。

災害看護プログラム

災害サイクル各期において支援ができる看護職を目指す学生が，災害看護の基礎的知識と技術を身につけるためのプログラムです。学生は学修を進めるにあたり，１年次から学びの振り返りができるポートフォリオを作成しながら，指定された科目を学びます。また，その学びを活かした災害看護関連のボランティア活動を行うことでさらに深い学びが可能です。

看護学群のキャリア支援 学生一人ひとりの自己実現のために，そして看護職として自律した社会人となれるようキャリア支援を行っています。

卒業後の進路
- 病院や施設・地域で働く看護師
- 小・中・高・特別支援学校の養護教諭
- 自治体や企業の保健師
- 大学院や助産師養成校への進学

キャリア教育

４年次に学生自身が進路決定できるように，１年次からキャリア開発教育を通して学修します。具体的には，１年次から３年次まで行われる「キャリアガイダンス」，「医療機関等研究セミナー」，「公務員セミナー」，「養護教諭セミナー」を開催します。その中で個々の学生が，自らの適性を考え職業の選択ができる能力を育成します。

就職・進学相談

４年次はキャリア開発担当教員により，学生が希望する進路について「個別相談」を計画的に行います。また，キャリア開発室の進路指導員による就職試験に向けたエントリーシート作成支援や面接対策など，きめ細かな支援を行います。

国家試験対策

「看護師」「保健師」の資格は，国家試験の合格をもって得られる資格です。４年次には，定期的に模擬試験とその解説会を行い，学びを定着させます。また，国家試験直前対策として教員による学習会を行うなど，合格に向けてのサポート体制を構築しています。

事業構想学群

School of Project Design

事業プランニング学類　入学定員 60 名
地域創生学類　入学定員 60 名
価値創造デザイン学類　入学定員 80 名

入学者に求める能力

(1) 地域社会の動向や時代の流れに興味を抱き，自ら問題を発掘し，論理的に考え，表現することを学ぶための基礎的な学力を有する人
(2) 大学での勉学に対する強い意欲を持ち，高度な知識とスキルを身につけることによって地域社会に貢献することを目指す人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

事業構想学群では，現代社会の諸課題を多角的・グローバルな視点で論理的に捉え，その課題解決に向けた事業を実行可能かつ持続可能なものとして構築する能力を身につけるとともに，地域資源の活用や新たな価値創造を志向し，産業，行政，社会の各分野で先導的役割を担える人材の育成を目指しています。

めざせる資格・免許等

●簿記検定 ●公認会計士 ●税理士
●技術士 ●防災士 ●中小企業診断士
●ITパスポート試験 ●WEBデザイナー
●建築士 ●インテリアプランナー

社会保険労務士／司法書士／宅地建物取引士／総合旅行業務取扱管理者／基本（応用）情報技術者／統計検定／銀行業務検定／色彩検定／マルチメディア検定／ CG クリエーター／ CG エンジニア／画像処理エンジニア／福祉住環境コーディネーター／認定ファシリティマネジャー 等
※めざせる資格は学類ごとに異なります。

「知の拠点」として，地域社会の輝きの原動力となる人材を育成。

「都市の時代」と言われる 20 世紀では，大都市に集中する経済力が国を牽引してきましたが，21 世紀は「地域の時代」であり，地域の資源を有機的に循環させながら，持続可能な社会を創造していくことが求められています。事業構想学群では，こうした社会状況を踏まえながら，「Project Design」の視点から，様々な事業を構想・計画・設計・運営していくための理論と実践を学んでいきます。本学群には 3 つの学類があり，事業プランニング学類では「しごとづくり」，地域創生学類では「まちづくり」，価値創造デザイン学類では「ものづくり」を中心に，地域社会に新たな価値を提供する方法論を身につけていきます。21 世紀を担う学生諸君は，世界的な視野から地域の行動に結びつける「グローカル（Global+Local）」なソリューションの視座を活かし，積極的に地域社会と関わりながら，東北や日本を輝かせる人材として成長・活躍してほしいと願っています。

事業構想学群 学群長
風見正三教授

事業プランニング学類

入学者に求める能力

実行可能な計画をまとめ上げることに強い関心を持ち，その際に必要となる，情報・データの読解，論理的な思考や表現の方法を学ぶための基礎学力を有する人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

現実の社会で顕在化している諸問題を分析し，新たなビジネスモデルの構築と運営できる能力（事業プランニング力）を育成します。

地域創生学類

入学者に求める能力

地域社会で顕在化している諸問題を分析してその解決策を自ら考えることや，地域社会の基盤となるまちづくりや防減災に関する理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

現実の社会で顕在化している諸問題を分析し，地域資源も活用することで新たな地域を創生する能力（地域創生力）を育成します。

価値創造デザイン学類

入学者に求める能力

人間感性や地域風土に根ざしたデザイン原理や，人々の生活の場である建築・街・インテリアなどの空間や環境をデザインする理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

人間の感性や地域の資源に応じた新しい価値を創造できるサービス・生活環境・製品（ものづくり）を探求創造する能力（価値創造デザイン力）を育成します。

食産業学群

School of Food Industrial Sciences

食資源開発学類　入学定員 62 名
フードマネジメント学類　入学定員 63 名

入学者に求める能力

(1) 食及び食を取り巻く環境に興味を持ち，自然科学の基礎知識を身につけている人
(2) 論理的思考力を持ち，食の安全・安心，環境との調和などの課題解決に情熱を傾けようとする人
(3) 地域社会の一員として，さらには世界的な観点から食産業を考え，その発展に貢献しようとする人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

食産業学群では，食資源開発及び食材生産から食品製造・流通・消費に至るまでのフードシステムについて幅広い科学知識と技術を持ち，食産業全体を理解し，東北地域から世界まであらゆるレベルで食の未来を開拓できる意欲と能力を有する人材の育成を目指しています。

めざせる資格・免許等

● 家畜人工授精師（牛）
所定科目の単位取得により，修業試験の該当科目を免除
● 食品衛生監視員
所定科目の単位を取得し，卒業後，所定の要件を満たした場合に取得可能
● 食品衛生管理者
所定科目の単位を取得し，卒業後，所定の要件を満たした場合に取得可能
● HACCP管理者
所定科目の単位取得により取得可能
● 食の6次産業化プロデューサー
所定科目の単位取得により，「わかる（知識）」のレベル 2 として認定

地域を知り，そしてグローバルな視点で活躍できる人材を育成する。

食産業学群は，農畜水産物の「生産」から「加工」「流通」「サービス」に至るフードシステム全般を学ぶことを掲げ，2005 年の開設時から歩んできました。現在，消費者の嗜好性が多様化し，少子高齢化で生活様式が変化する中，食品の消費経済市場は大きな転換期を迎えています。消費者行動をいかに理解し，いかにマーケットインによる商品開発に結び付けるかが重要になっています。我々は，農畜水産物の生産，加工食品の開発・流通・消費を文理融合の視点から学ぶことで，こうした課題を解決できると考え進めています。これまでに 1500 余名の卒業生を地域のみならず世界に輩出し，官公庁はじめあらゆる分野の企業で中核人材となって活躍しています。
時代は，地域を知り，そしてグローバルな視点で活躍できる人材を求めています。宮城，東北のみならず世界への貢献を目標に，共に成長していきましょう。

食産業学群 学群長
西川正純教授

食資源開発学類

入学者に求める能力

動・植物や微生物など，新たな食資源の開発に強い関心を持ち，幅広い科学的知識と技術を身につけ，社会に貢献しようとする人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

地域に根ざす食資源の高付加価値化や生産方法に関する知識・技術を養い，科学的素養に基づきながら地域資源を活用し国際的視点で食産業の課題を自発的に解決して，未来を開拓できる能力を育成します。

フードマネジメント学類

入学者に求める能力

食品製造・加工から流通・消費に至る食産業のプロセスについて，サイエンスとビジネスの両面において知識や技術を身につけ，社会に貢献しようとする人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

フードシステムの構築に必要なサイエンスとビジネスの両面の知識・技術を養い，科学的素養に基づきながら地域資源を活用し国際的視点で食産業の課題を自発的に解決して，未来を開拓できる能力を育成します。

看護学類

Nursing with a look to the future.

看護専門職としての基礎能力を身につけながら，

同時に看護に大切な“豊かな人間性”と“高い倫理観”を育み，

あらゆる看護フィールドで活躍できる人材へ。

これからの社会で活躍できる看護実践能力の修得を目指して

少子高齢化が急速に進み，将来を見据えて，社会が動きだしている中，大学における看護学教育では，「看護実践能力の修得」がより重要視されています。看護実践能力は，単に手技ができることを示すものではありません。そこには，見聞きしたことを情報として捉える力，捉えたことを解釈する知識，情報・知識・経験を繋げて状況を適切に判断し，解決の方法を考え，実践できる力が含まれます。そして，効果的に解決するために必要な人や資源に繋げ，活用し，看護の対象となる人がより良く生き，生活するための環境を整える力も含まれます。今後，さらに複雑化・多様化することが見込まれる社会に対応できるよう，「捉えた現象を関連付けて考える力」が求められています。本学で様々な学修や体験をしながら，今後の社会にも対応できる看護職を目指して成長していきましょう。

看護学群 副学群長
高橋和子教授

看護職として社会で活躍できるように，キャリア形成の基盤を総合的にサポート

看護の基本的な技術を学修するためのナーシング・ラボ

Student Voice【学生の声】

看護学類2年 阿部遥菜さん
宮城県仙台三桜高等学校出身

Student Voice

講義や活動を通して得られる，より実践的な学びや貴重な経験。

災害時における看護師・保健師の役割をより実践的に学ぶことのできる「災害看護プログラム」や「地域看護」での学び，さらに大学内の災害ボランティアサークルでの活動を通して，将来私は保健師か訪問看護師として，地域に住む方々と密接に関わりながら健康を支えていきたいという想いが強まっています。たとえば，「災害看護プログラム」の「災害活動論」の講義では，災害サイクル各期における看護の基礎知識に加えて，東日本大震災時に保健師として活動した方の話を間近で聞けたこと。そして，災害ボランティアサークルで，南三陸町の保健師やサポーターの方々と連携し，住民の方々の生活不活発病の予防推進に関われたことは，とても貴重な経験になっています。こうした学びや経験ができるのは，東日本大震災を経験した県にある宮城大学ならではだと思います。

Qualifications【資格取得について】

看護師国家試験合格率（第 108 回：全国平均 94.7%） 98.9%

保健師国家試験合格率（第 105 回：全国平均 88.1%） 97.5%

看護師国家試験受験資格

看護師国家試験を受験することができる資格です。国家試験に合格することで看護師として働くことができます。看護師は 医療の第一線で活躍しており，ときには患者の精神的支えになるなど，病院内での役割は大きい仕事です。高齢社会に向けて，ますます需要は高まっています。

保健師国家試験受験資格

保健師国家試験を受験することができる資格です。国家試験に合格することで保健師として働くことができます。健康に関する相談を受けたり，指導や健康診断を行うなど，主に病気予防に関わる活動に従事しており，健康・保健知識の啓蒙活動を通じて，住民の生活向上を図る重要な役割を果たしています。

養護教諭一種免許状

小・中・高等学校・特別支援学校において，児童・生徒の心身の健康管理を行うと同時に，学校の保健教育の担い手にもなっています。いわゆる「保健室の先生」です。

※保健師国家試験受験資格と養護教諭一種免許状は選択制です。いずれか一方を選択できます。

看護学類：4年間の学び

Curriculum【4年間の学び】

1年次 前期

「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ
看護の基礎を学ぶ

人間力を高め，広く深く学び続ける力を養成する

［基盤教育科目の例］ ●社会の中で生きる ●スタートアップセミナー ●データサイエンス入門 ●English Reading Skills I･II

看護に必要な基礎的な科目について学ぶ

［専門教育科目の例］ ●人間発達学 ●看護学原論 ●形態機能学I･II･III ●看護援助技術論I ●公衆衛生学 ●ライフステージ看護学概論I

1年次 後期

基礎看護学実習（I段階）

2年次 前期

知識を深め，実践力を身に付ける

看護の基盤となる専門基礎科目・看護専門科目について学ぶ

［専門教育科目の例］ ●栄養学 ●看護援助技術論II･III ●疾病論I･II･III ●看護実践論 ●病態学 ●成人看護援助論I ●保健行動科学 ●在宅看護援助論I ●老年看護援助論I ●精神看護援助論I ●小児看護援助論I ●地域看護学概論 ●母性看護援助論I ●ライフステージ看護学概論II

2年次 後期

基礎看護学実習（II段階）

実践的な看護展開について学ぶ

［専門教育科目の例］ ●成人看護援助論II･III ●在宅看護援助論II ●老年看護援助論II ●精神看護援助論II ●小児看護援助論II ●母性看護援助論II ●看護マネジメントI

3年次 前期

様々な健康レベルにある対象に対応できる看護の実践能力を養う：領域別看護学実習

3年次 後期

成人看護学実習・老年看護学実習・地域看護学実習
在宅看護学実習・母性看護学実習・小児看護学実習・精神看護学実習

4年次 前期

自らの専門的知識と学際的思考をより深める

対象や場に応じた看護を行うための総合的実践力を修得する

総合実習

4年次 後期

自らの専門的知識と学際的思考力をより深める

［専門教育科目の例］ ●卒業研究 ●緩和ケア論 ●看護学研究法 ●看護マネジメントII

プログラム選択	教育課程選択	
災害看護プログラム	養護教諭教育課程 ※選択制	保健師教育課程 ※選択制
国際看護プログラム	養護教諭一種免許状取得	保健師国家試験受験資格取得

卒業後の進路

看護師国家試験受験資格取得

看護学類ディプロマ・ポリシーへの到達＝卒業

看護師	保健師	養護教諭	進学
病院／施設／地域	自治体／企業	小・中・高・特別支援学校	宮城大学大学院／他大学大学院 助産師養成校／海外留学等

社会で活躍する卒業生

Graduates【卒業生の活躍】

学生時代の積み重ねが，看護の現場で生きている。

仙台赤十字病院 中央手術室 看護係長
高橋周太郎さん（2003年3月卒業）

在学中は，授業で「EBN（Evidence -Based Nursings）」と言われつづけ，自分が行う看護行為の根拠を常に考えさせられました。現在勤めている仙台赤十字病院に就職してからも，日々「その根拠は，何なのか？」を十分に調べることで，自信を持って患者さんと接することができているように，宮城大学での学びが活かせていると感じています。
また，私自身もそうでしたが，社会や看護の現場に出た時，たくさんの患者さんと出会います。その際，一人ひとりの患者さんを理解するためには，多くの知識や技術が必要になります。だからこそ，大学ではなるべく多くの知識を身につけてみてください。社会や看護の現場で得る経験と統合することにより，きっと看護の幅は大いにひろがるはずです。

進路データ

進路データ

主な進路実績の一例（順不同）

看護師	84.3%	東北大学病院 / 東北公済病院 / 仙台オープン病院 / 宮城県立こども病院 / 公立黒川病院 / 仙台厚生病院 国見台病院 / JCHO 仙台病院 / 国立病院機構仙台医療センター / 仙台市立病院 / 東北福祉大学せんだんホスピタル 東北労災病院 / 松田会 / 宮城県看護協会訪問看護ステーション / 宮城厚生協会 / 昭和大学附属病院 日本医科大学病院 / 国立国際医療研究センター / 東邦大学医療センター大森病院 / 国立がん研究センター中央病院 国立成育医療研究センター / 虎の門病院 / 武蔵野赤十字病院
保健師	10.1%	仙台市 / 石巻市 / 加美町 / いわき市 / 郡山市 / 宮城交通㈱
養護教諭	4.5%	仙台市 / 福島県
進学	1.1%	日本赤十字看護大学大学院修士課程国際保健助産学専攻

進路データは，2019年3月19日現在 看護学科の実績を掲載

事業プランニング学類

Making business innovations happen.

時代が大きく変化しニーズが多様化する現代社会において，成功している企業は

どのような戦略をとり，どのように組織を動かしてビジネスを行っているのか。

様々な事例を通し，その論理と思考を基にした実践知を身につける。

新しいビジネス価値創造をプランニングできる人材の育成

国際化，高度情報化社会の進展は，留まることを知りません。ビジネス現場は，これまでに経験したことのない新たな変革への対応を迫られ続けています。
事業プランニング学類では，時代に求められる事業プランニングのできる人材育成のため，実践的な調査・分析手法と学術的な論理的思考を習得するとともに，新規性・独自性の高いビジネスモデルなどの事例を研究・構想の教育をしています。新たな時代を切り拓くビジネスリーダーとして，計画・実践力のある人材輩出を目指しています。

事業プランニング学類 学類長
内田直仁教授

事業創出に向けて専門領域を深める２つのコース

Classes【授業紹介】

学びの紹介《事業戦略コース分野》

新しい価値を社会に創出する事業は，市場の潮流や消費者ニーズを捉え，かつ独自性と新規性がなければなりません。事業戦略コースでは，新たな事業を生み出すために必要なスキルを学ぶ「マーケティング」や「eビジネス」，またそれを持続可能なものにするために必要な「経営戦略」など，実社会でも役立つ理論を学ぶと共に，演習科目を通してその計画力・実践力を身につけていきます。

田中千夏さん
会津若松ザベリオ学園出身

Student Voice

学びを通して，社会と積極的に関わりを持つ。

社会に必要とされるビジネスをいかに生み出すかを実学と交えて学びながら，所属しているマーケティングゼミでは宮城大学の在り方を提言にしてまとめたり，ビジネスコンテストで実在する企業が抱える課題を解決する企画を提案したりと，積極的に社会と関わりを持つことができました。

学びの紹介《事業管理コース分野》

経営資源を有機的に結び付けて，企業（事業）価値を向上させるための理論と技術を学びます。経営環境が大きく変化する中で，求められているのは，理論や原則を踏まえつつ柔軟に変化し環境適応していく戦略の構築です。本コースでは，会計・法務・CSR などの事業基盤となる知識・技術とともに，幅広い視野から社会経済環境の変化を把握し，それを戦略構築に活かすために必要な，組織のマネジメントや人的資源管理，財務戦略，経営情報管理などについて，実践的な学修の機会を提供します。

主な学べる分野

経営財務・金融／経営学・組織論／
経営戦略／法学／経済学／
マーケティング／社会システム／
社会調査／ eビジネス／会計学

MYU Seminars【研究室紹介】

田邉研究室

金融経済の実践的な学びを深める

金融経済の基礎理論をベースに金融機関や企業への訪問，模擬株式投資などを通じて実体経済を学びます。行動経済学の実験，電子書籍の出版などの実践にも取り組んでいます。

高山研究室

講義で学んだものを，実践へ

実践，行動，挑戦。マーケティングゼミでは理論はもちろん，それを行動に移したかどうかを重要視しています。成功したかどうかではなく，挑戦したか，最後までやりきったのか。それを楽しんでください。

金子研究室

経済学の理論的分析と経済実験

経済学を専門に，学生のプレゼンを通じて理論的分析力を高めていきます。同時に経済実験も行い，各主体が理論書とは異なる判断をする要因について実学的視点からも考察します。

事業プランニング学類：4年間の学び

Curriculum【4年間の学び】

1年次 前期
「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ

1年次 前期・後期
専門基礎科目を学ぶ

1年次 後期
事業構想の概念と手法の基礎を学ぶ
［開講科目例］ ●事業構想学概論 ●地域活性化とビジネス ●地域社会・産業とデザイン

全学共通科目

2年次 前期
学類配属

専門基礎科目を学ぶ

ビジネスに関する基礎理論，ビジネスを取り巻く環境を分析する手法を学ぶ
［開講科目例］ ●地域政策概論 ●経営学概論 ●ミクロ経済学 ●データサイエンス ●ビジネスモデル論 ●応用統計処理

2年次 後期
コースを選択

専門科目を学ぶ

事業戦略コース
新たな事業を創出し，持続可能なものとするための戦略的な手法を学ぶ
［開講科目例］ ●経営戦略論 ●マーケティング ●eビジネス ●ビジネスプロセスマネジメント ●販売促進

事業管理コース
事業資源を有機的に結びつけ，管理する理論と技術を学ぶ
［開講科目例］ ●会計学概論 ●金融論 ●経営組織論 ●経営情報管理 ●人的資源管理論

3年次 前期・後期
ゼミ選択

専門科目の学びを深める
［開講科目例］ ●現代企業論 ●ロジスティクス ●CSR・経営倫理 ●リスクマネジメント ●地域資源論 ●地域交流論 ●計量経済学 ●商法・会社法

相互に科目選択可能

●コミュニティ・プランナー ●グローバルインターンシップ ●学外研修等

4年次 前期・後期
卒業研究

グローバル化・情報化する社会の中で新たな事業を創出し，それらを持続可能なものとするための知識や考え方を持つ人材をめざす

卒業後の進路

- **民間企業**：総合職／専門職等
- **公務員**：国税専門官／地方自治体等
- **経営者**：起業／事業継承士業（公認会計士）等
- **進学**：宮城大学大学院／他大学大学院 海外留学等

社会で活躍する卒業生

Graduates【卒業生の活躍】

学生時代に学んだのは，全力で行動する大切さ。

楽天インサイト株式会社 執行役員
中村俊也さん（2007年3月卒業）

高校時代に経済でも経営でもない，自分で事業を立ち上げる「事業構想学」に興味をもったのが，宮城大学への受験を決めたきっかけです。大学に入学後は，座学だけではなくフィールドワークなどで実践力を身につける機会が多く，講義も刺激的でした。また先輩方が学外の活動などにも積極的で，大学で学んだ理論を学外で実践するその姿に強い影響を受け，私もイベントの企画立案などに数多く取り組みました。現在は楽天グループの調査会社にて，執行役員という立場で経営に携わっていますが，新卒で入社後すぐに活躍できたのは，学生時代に物事に全力で取り組んでいた経験が活きています。宮城大学の学生生活は，多くのことにチャレンジし，新しい自分を発見するチャンスで溢れています。そのチャンスをなるべく多く，自分のモノにしてください。

進路データ

進路データ

主な進路実績の一例（順不同）

情報通信業	24.0%	㈱SCSK/㈱NTTデータビジネスシステム/㈱NTTdocomo/NTT東日本㈱/㈱マクロミル/㈱リクルート/楽天㈱
金融業・保険業	16.3%	㈱七十七銀行/㈱仙台銀行/㈱山形銀行/大和証券㈱/あいおいニッセイ同和損害保険㈱ 損害保険ジャパン日本興亜㈱/東京海上日動火災保険㈱/三井住友海上火災保険㈱/明治安田生命保険相互会社
卸売・小売業	14.4%	イオンリテール㈱/カメイ㈱/㈱ローソン
製造業	8.7%	東京エレクトロン㈱/凸版印刷㈱/トヨタ自動車東日本㈱/パイオニア㈱
公務	8.7%	宮城県/仙台市/石巻市/多賀城市/大和町
学術研究，専門・技術サービス業	7.7%	㈱読売広告社
電気・ガス・熱供給・水道業	4.8%	東北電力㈱
他サービス業	3.8%	㈱USEN-NEXT HOLDINGS
建設業	3.8%	三機工業㈱/㈱ユアテック
不動産業・物品賃貸	1.9%	三井不動産リアルティ東北㈱
宿泊業，飲食サービス業	1.9%	スターバックスコーヒージャパン㈱
複合サービス事業	1.0%	
運輸業，郵便業	1.0%	
教育，学習支援業	1.0%	
医療，福祉	1.0%	

進路データは，2019年3月19現在 事業計画学科の実績を掲載

地域創生学類

Creating sustainable communities.

人口減や震災などによる地域ごとの課題をいかに解決していくか。

地域政策や協働のまちづくり，コミュニティビジネスの手法を学び，

地域活性化に貢献できる原動力となる人材を育てる。

科学的・技術的根拠から，地域の魅力を輝かせる

現在，多くの人々が地域の中で活躍しています。地域創生の動きです。地域社会に生きる私たちは，持続可能な発展を念頭に，限られた資源の中で，地域の魅力を最大限に光らせる取り組みについて考えていかなければならない時代に生きています。そこで鍵を握るのが，“エビデンスド・ベースド・ポリシー”という概念です。科学的・技術的な根拠に基づく政策やプロジェクト企画実行の方法論であり，地域創生学類ではこうした理念を掲げながら，多様な科目からその方法を身に着けます。また，実際にフィールドワークを通じて，科学的・技術的な視点と地域へのあたたかいまなざしを併せ持ち，実践的に地域社会へ貢献できる人材の輩出を目指しています。ともに魅力ある地域社会の創造，ソーシャルイノベーションに取り組みましょう。

地域創生学類 学類長
佐々木秀之准教授

フィールドワークを通して，地域課題の解決をより実践的に学ぶ

MYU labs【研究室紹介】

石田研究室

これからの公共経営を考えるために政府・行政，企業，地域組織，NPO というプレイヤーに目を向ける

どんなテーマで研究するかについて学生みんなで議論します。石田研究室ではNPOやフィランソロピーをテーマに掲げており，防災政策や環境政策，公共経営や公共サービスの供給などの社会課題を検討するにあたり，NPOのミッションやガバナンス，財務・人材のマネジメントやマーケティング，ICT 利用と広報などについて学びます。また，協働関係を結ぶ政府・行政，企業，地域組織も含めてヒアリング調査やデータ分析を行っています。各プレイヤーの役割に目を向け，社会課題の解決方策を模索しています。

石内研究室

災害の記憶や教訓を活かした，地域防災力の向上に向けた取り組み

南海トラフ巨大地震の発生が危惧される地域で，住民への意識調査の結果，この 20 年間で阪神・淡路大震災時の記憶や教訓が風化し，災害に対する意識の低下や教訓が活かされていない現状を把握しました。そこで石内研究室では，地域住民と街歩きや防災マップの作成といった事前準備を実施することで，地域防災力の向上に向けた取り組みを推進。災害の記憶を風化させずに，教訓として後世に残して行くためにはどうすればよいか。今後さらに追求し続けて行かねばならない重要な課題であると考えています。

沼田亜沙子さん
尚絅学院高等学校出身

Student Voice

固定観念にとらわれず，学びを深められる。

地域についてだけでなく，経済学や金融学，社会学など様々な分野について学べること。そして座学だけでなくフィールドワークを通して，仲間と協働するスキルや課題の分析・解決能力を養えること。まだ歴史の浅い学類ですが，それが地域創生学類で学ぶ最大の魅力です。

Classes【授業紹介】

地域分析学

地域創生を成功へと導く分析力を

日本各地で地域創生の取り組みが活発化する昨今。政策を考える上で重要な人口構成や産業構造といった地域の実情をまず的確に把握する能力が求められています。そこで本講義では，地域分析において必須の技術となる情報の適切な収集～定量化・データ化・可視化の修得を目指します。

地方自治

地域マネジメントを，より実践的に学ぶ

将来，民間企業・行政・NPO などで働く上でも，地域で生きる個人としても，新しい地方自治の視点を持つことは重要です。本講義では，地方自治の歴史から地方分権の流れを学び，地域で活躍するプレイヤーについて理解を深め，どのような形で地域をマネジメントできるかを考えます。

事業構想学群

地域創生学類：4年間の学び

Curriculum【4年間の学び】

1年次 前期

「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ

全学共通科目

1年次 前期・後期

専門基礎科目を学ぶ

1年次 後期

事業構想の概念と手法の基礎を学ぶ

［開講科目例］ ●事業構想学概論 ●地域活性化とビジネス ●地域社会・産業とデザイン

2年次 前期

学類配属

専門基礎科目を学ぶ

社会の仕組みを理解し，人々の意識・行動特性を分析する手法を学ぶ

［開講科目例］ ●地域政策概論 ●地域調査法 ●ビジネスモデル論 ●マクロ経済学 ●応用統計処理 ●地理情報分析

2年次 前期・後期

コースを選択

専門科目を学ぶ

2年次 後期

地域政策コース

行政機能，住民協働などまちづくりに関する理論と考え方を学ぶ

［開講科目例］ ●地域社会学 ●国土・地域計画 ●行政学 ●都市計画 ●地方自治

地域科学コース

地域の現状分析，将来予測，施設整備などの理論と現状を学ぶ

［開講科目例］ ●地域分析学 ●計量経済学 ●交通計画 ●水資源利用学 ●災害の科学

●コミュニティ・プランナー ●グローバルインターンシップ ●学外研修等

3年次 前期・後期

ゼミ選択

専門科目の学びを深める

［開講科目例］ ●地域産業政策 ●地域環境政策 ●行政評価 ●防災計画 ●地区・街区計画 ●社会起業論 ●公法 ●インターンシップII ●ユニバーサルデザイン ●サスティナブルデザイン

相互に科目選択可能

4年次 前期・後期

卒業研究

科学的なアプローチで地域課題を明確にし，都市・農村政策や協働のまちづくりを通して，地域活性化に貢献できる人材をめざす

卒業後の進路

- **総合職**：観光／インフラ，住宅・不動産／IT・通信等
- **公務員**：技術系／事務系等
- **進学**：宮城大学大学院／他大学大学院，海外留学等

社会で活躍する卒業生

Graduates【卒業生の活躍】

前例がないなら，やってみる。自らつくる。

株式会社フィッシャーマン・ジャパン・マーケティング 取締役 海外事業部長
土合和樹さん（2008年3月卒業）

大学卒業後は，総合商社で海外に発電所や空港をつくる部署に所属し，エジプトやインドなどの発展途上国で目標としていた仕事ができていました。しかし東日本大震災をきっかけに，東北に戻り東北が東北らしく輝き誇れる仕事に挑戦しようと思っていたタイミングで，同窓の津田祐樹さん（事業計画学科・2005年卒）に誘われ今に至ります。
現在は，主に地域の生鮮海産物の海外輸出や産地PR，東北の農水産食品事業者の海外輸出拡大支援に取り組み，東北がいつか世界の料理人や食通たちの憧れの地となるその礎をつくることを目標にしています。大学時代に体感することで養った「ないものは，自らつくればよい。前例がないなら，やってみればいい」という精神は，今も日々現場で活かされています。

地域創生学類の進路イメージ

地域創生学類では，地域のコミュニティをマネジメントし，課題を解決しながら持続可能な地域の発展を考えていけるプランナー，閉塞する地域を突破していける人材の育成（自治体・企業等への輩出）を目指します。

- 公務員（事務系）
- 観光（旅行・開発）
- メディア（マス／ソーシャル）
- 教育・研究
- 食（農産物生産加工販売・外食）
- 公務員（技術系）
- 社会インフラ（電気・ガス・水道・電気通信）
- 交通インフラ（土木・道路・鉄道）
- 健康・福祉
- 地域金融（地方銀行・信用金庫）
- 住宅・都市開発

価値創造デザイン学類

Creating “new value & design” for the society.

情報・環境デザインを通して，新しい価値をどう生み出していくか。

日々変化する社会環境を観察し，デザインが担う役割を学びながら，

多様な課題を解決へと導く論理的思考力と表現力を身につける。

価値＋創造＋デザインで，地域に，社会に答えを

この学類の名称は「価値＋創造＋デザイン」という人類にとって重要かつ大変関わりの深い言葉を組み合わせて作られています。価値とは，何か目前のものの中に見出される魅力や意味を見極め，認められ，共有されていくもの。創造とは，私たちの知恵や知識を最大限に活かして何かを生み出そうとする意識とその振る舞い。そしてデザインとは，身につけた技術や考え方を用い，かたちあるものや他者と分かち合いたいと思える出来事を実現して行くことです。これらが融合して立ち現れた姿を，時に私たちは美しいと感じたりもします。「価値＋創造＋デザイン」を重ね合わせつつ，互いに刺激し合いながら，地域における課題，まだ目に見えない問題，あるいはこれからの社会に求められる多様な話題に大きな世界観を持って取り組む人材を育てて行くことを目指します。

価値創造デザイン学類 学類長
中田千彦教授

基礎理論からつくる技術，そして価値を生み出す実践力まで幅広く養う

MYU labs【研究室紹介】

1. 鈴木研究室

心地良い関係性を生み出すデザイン

鈴木研究室では，心地良いインタラクションを生み出すデジタルメディアやフィジカルメディアの創造に挑戦しています。

2. 平岡研究室

交流施設を住民と共にデザイン

自然環境や社会環境とコミュニティを，空間デザインによってより良い関係にしていくことを研究しています。

3. 土岐研究室

伝統工芸とテクノロジーによるものづくり

漆の造形素材としての機能的性能を再評価して，伝統工芸技術を現代のものづくりやデザインに活かす研究をしています。

4. 鹿野研究室

人と人の接点を，より良く

鹿野研究室ではアプリケーション，WEB，映像といった分野を中心に，社会の課題解決にどんなデザインが必要なのかを研究しています。

梅田優弥さん
青森県立三本木高等学校出身

Student Voice

常に自分を成長させることのできる環境がある。

デザインに必要な技術にとどまらず，「なぜ作るのか，どうやって作るのか」という視点で，演習を通してデザイン思考やデザインプロセスについても学んでいます。宮城大学には，コモンズやデザインラボといった学修空間がそろっており，製作活動に集中して取り組むことができるのも魅力です。

制作設備・施設一覧

製図や模型製作が行える製図室／高性能 PC が整ったデザインラボ／レーザーカッターや 3D プリンタといったデジタルファブリケーション機器を備えた材料実験室／演習ではクリエイター向けソフト「Adobe Creative Cloud」や CAD が利用可能

Facilities【施設紹介】

多様な表現方法を学び，実践する場

デザインラボは，プログラミングや 3DCG・電子工作等の技術を習得・実践できる環境が整備されています。そのため，高性能 PC やプロジェクタ，デジタル工作機器，壁面ホワイトボード等が設置されており，学生は装置のプロトタイピングやプロジェクションマッピングの予行等に活用しています。

デジタルファブリケーション機器を備えた総合制作工房

材料実験室は従来からの木工制作などの作業環境や本格的なシルクスクリーン印刷環境に加え，3D プリンタやレーザーカッターといったコンピュータで制御するデジタルファブリケーション機器と呼ばれる加工機を備えた総合制作工房です。各種素材と機材を使って様々な制作が行えます。

価値創造デザイン学類：4年間の学び

Curriculum【4年間の学び】

1年次

前期

「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ

専門基礎科目を学ぶ

後期

事業構想の概念と手法の基礎を学ぶ

［開講科目例］ ●事業構想学概論 ●地域活性化とビジネス ●地域社会・産業とデザイン

全学共通科目

2年次

前期

学類配属

専門基礎科目を学ぶ

人間の感性や認知特性等の基礎理論や，地域資源をいかしたデザイン原理を学ぶ

［開講科目例］ ●価値創造デザイン学基礎 ●価値創造デザイン演習 ●情報と環境 ●色彩と形態 ●応用統計処理

コースを選択

専門科目を学ぶ

後期

感性情報デザインコース

人間感性と情報技術をつなぐメディア開発と，ものづくりの理論や技術を学ぶ

［開講科目例］ ●メディアプログラミング ●ウェブプログラミング ●情報構造と可視化 ●感性情報デザイン演習

生活環境デザインコース

地域資源に根ざしたものづくりや，生活環境づくりの理論と技術を学ぶ

［開講科目例］ ●生活環境デザイン概論 ●建築史 ●生活環境デザイン演習 ●環境心理・行動学

造形・プロダクトデザイン科目

［開講科目例］●風土・伝統デザイン ●造形・プロダクトデザイン ●グラフィックデザイン ●インテリアデザイン ●編集・広告デザイン

●コミュニティ・プランナー ●グローバルインターンシップ ●学外研修等

3年次

前期

ゼミ選択

後期

専門科目の学びを深める

［開講科目例］ ●ユニバーサルデザイン ●インタフェースデザイン ●ウェブデザイン ●コンピュータグラフィクス ●生活環境工学 ●都市と文化 ●景観工学 ●編集・広告デザイン ●エクスペリエンスデザイン ●ファシリティマネジメント

4年次

前期

卒業研究

後期

人間の感性や地域の自然・文化などを汲みとり，情報デザイン・環境デザインを通じて新たな価値を生むことができる人材を目指す

卒業後の進路

建設関連

意匠設計／施工管理
環境管理／まちづくり等

情報通信関連

システム開発
アプリ開発等

クリエイティブ関連

インテリアデザイン／製品デザイン
ウェブデザイン等

進学

宮城大学大学院／他大学大学院
海外留学等

社会で活躍する卒業生

Graduates【卒業生の活躍】

幅広く学べたことが，自分の強みになった。

株式会社日建設計 設計部門 設計部
長尾美菜未さん（2007年3月卒業）

私は現在，組織設計事務所に勤務しており，意匠設計者としてこれまでオフィスや大学・ホテル・工場・空港など比較的大規模な建物の設計に携わってきました。複雑な与条件を読み解きながら多くの関係者と一緒に形にしていくのは大変な作業ですが，建築に同じものは何一つなく常に新しい課題に取り組んでいるので，飽きることはありません。自分が描いた図面が実物になった時は，毎回鳥肌が立ちます。
宮城大学は，さまざまな興味を持った学生が成長できる大学だと思います。私自身も，デザインだけでなく経営や事業開発の領域まで幅広く学べたことは，大きな強みになりました。これからも挑戦し続けることを恐れず，使う人や周囲に良い影響を与える建築を数多く生み出していきたいです。

進路データ

進路データ　　**主な進路実績の一例**（順不同）

建設業	22.1%	㈱一条工務店仙台 / セキスイハイム東北㈱ / ㈱積水ハウス / ㈱北洲 / ㈱ピーエス三菱
情報通信業	20.0%	テクノ・マインド㈱ / ㈱日立ソリューションズ東日本 / ㈱メンバーズ
学術研究，専門・技術サービス業	13.6%	NEC ファシリティーズ㈱ / ㈱ NTT ファシリティーズ東北 / ㈱第一広告社 / ㈱東急設計コンサルタント
他サービス業	10.5%	㈱アルプス技研 / ㈱ JTB/ ㈱ LIXIL ADVANCED SHOW
卸売・小売業	7.4%	イオンリテール㈱ / ㈱東京インテリア家具 / 宮城日産自動車㈱
公務	6.3%	国家一般（東北財務局）/ 宮城県 / 仙台市 / 大和町
金融業・保険業	5.2%	㈱七十七銀行 / ㈱仙台銀行 / (独) 住宅金融支援機構 / 損害保険ジャパン日本興亜㈱
製造業	3.2%	トヨタ自動車東日本㈱
不動産業・物品賃貸	3.2%	(独) UR 都市機構 / 野村不動産パートナーズ㈱
運輸業，郵便業	1.1%	宮城交通㈱
医療，福祉	1.1%	
農業，林業	1.1%	
進学	5.2%	宮城大学大学院事業構想学研究科 / 首都大学東京大学院都市環境科学研究科 筑波大学院人間総合科学研究科 / 東北大学大学院法学研究科

進路データは，2019年3月19日現在 デザイン情報学科の実績を掲載

食資源開発学類

Searching for novel & superior food ingredients.

農・畜・園芸・水産物の“食の資源”の生産・加工方法などの学修に始まり，

より価値の高い食資源の開発について探求。

さらに，ビジネスの視点も交え，食資源を通じた実践的な社会との関わり方を学ぶ。

食材生産の未来に光を！フードシステムの川上を豊かに

川は川上の豊かな栄養を含んだ水を川下へと運び，栄養に富んだ平野を作り，海も豊かにします。食産業学群をフードシステムの川に例えると，食資源開発学類は川上に，フードマネジメント学類は川下に相当します。食資源は大きく植物性と動物性に分けられますので，コースは動物生産科学コースと植物生産科学コースから成っています。また，コースとは別に，食材生産の基盤となる環境，経営・経済および水産資源についても同時に学べます。循環型食材生産を視野に入れ，食材の生産，それを取り巻く環境などの基本的な学修から付加価値の高い食資源の開発など，食産業の上流を広い視野で捉えていきます。専門的な学びを通じて，実践的な社会との関わり方を考え，未来に向けたより良い食資源の生産・確保について一緒に考えてみませんか。

食資源開発学類 学類長
大竹秀男教授

座学に加え，実験・実習を通して体験することで，学びをより深める

Classes【授業紹介】

食材生産・加工実習Ⅰ
生産現場を体験し，基礎を学ぶ
イネ栽培，野菜栽培，乳牛からの搾乳等の実習を通して，食料生産の基礎を学びます。

動物生産基礎実験Ⅰ
動物の扱い方から遺伝子解析まで
マウスや大型動物を使った実験により，動物の扱い方や動物実験の基礎を学びます。

動物性食材生産学Ⅱ(肉)
動物性食材生産の現状とこれから
牛肉・豚肉・鶏肉等を中心に解説し，これからの動物性食材確保について議論します。

植物性食材生産学Ⅰ（食用作物）
命を支える農作物の生産を学ぶ
活動のエネルギー源となるイネ等の穀類やマメ類・イモ類の特質と生産方法を学びます。

付加価値植物性食材生産法
消費者が求める農作物とは？
魅力的で高い競争力を持つ農作物の生産技術を学び，必要な技術開発について考えます。

食材生産経営学
経営者の視点から考える農業・水産業
新たな食材や生産方法の開発をビジネスとして発展させるために必要な知識を学びます。

秋山紀賀さん
宮城県石巻西高等学校出身

Student Voice

“食”という観点から，幅広く，多角的に。

食資源開発学類では，経済や環境など“食”を取り巻く事象についても幅広く学べるため，“食”を多角的に考える機会に恵まれていると感じます。また，学生と教員の距離がとても近いので，いつでも気軽に質問することができ，講義や実習での不明点などをその場で解決できるメリットもあります。

取得できる資格

家畜人工授精師（牛）
食品衛生監視員
食品衛生管理者
食の６次産業化プロデューサー

食資源開発学類で，卒業または特定の科目の修得によって学修分野に関する上記の資格が取得できる予定です。

MYU labs【研究室紹介】

須田研究室
牛霜降り形成機構解明と豚免疫能改良に挑む
霜降り形成機構は未だ謎。世界的和食材の霜降り肉形成に関わる遺伝子群をゲノムレベルで探索し，DNA 塩基配列への化学分子のダイナミズムに挑みます。また，遺伝的改良を加え，腸内フローラを制御し，免疫能を高めて病気に強く，美味しさ成分が多い豚肉を産み出す研究もしています。

日渡研究室
植物の環境応答のしくみを解き明かす
植物は光などの環境刺激に柔軟に応答し生育します。このしくみを理解し，生育を最適化することで，食料生産の増加が見込まれます。重力も生育に影響を与える重要な環境刺激の一つで，地上実験のみならず宇宙での微小重力実験も行いながら，重力応答の分子的なしくみを研究しています。

食産業学群

Curriculum【4年間の学び】

食資源開発学類：4年間の学び

1年次

前期

「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ
大学での学びに必要な基礎的なスキルを身につける

後期

年次末に学類配属

2年次

前期

専門基礎科目を学び食材の生産や加工を体験

代表的な食材の生産や加工について学び体験する
食産業をビジネスとサイエンスの両面から理解するための基礎学力を身につける

［開講科目例］ ●食材生産概論 ●食材生産・加工実習Ⅰ ●有機化学 ●経済経営学基礎

コースを選択

後期

専門科目を学び始める

動物生産科学コース		植物生産科学コース
［開講科目例］ ●動物生理学 ●動物生産基礎実験Ⅰ ●畜産食品学	生物学的基礎理論を食材の生産と結びつけて学ぶ	［開講科目例］ ●植物生理学 ●植物生産基礎実験Ⅰ ●農産食品学

3年次

前期

より専門性の高い科目を座学と実験・実習を通して学ぶ

［開講科目例］ ●動物性食材生産学Ⅰ・Ⅱ ●アグロテクノロジー ●循環型動物生産論 ●付加価値動物性食材生産法 ●動物性食材生産実験実習Ⅰ・Ⅱ ●付加価値動物性食材生産実験実習	食材の生産法や経営を学ぶ 品質の評価法や優位性付与の理論を学ぶ	［開講科目例］ ●植物性食材生産学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ●アグロテクノロジー ●食資源開発学 ●付加価値植物性食材生産法 ●植物性食材生産実験実習Ⅰ・Ⅱ ●付加価値植物性食材生産実験実習

後期

これらの科目も両コースで学べます
［開講科目例］ ●水棲動物学 ●水棲植物学 ●水産資源学 ●水産利用学

4年次

前期

卒業研究を中心に，実践的な課題に取り組む機会が増える

［開講科目例］ ●卒業研究 ●食と未来

後期

卒業論文発表会＝4年間の学びの集大成

食材の生産法や品質の評価法がわかり，
優位性のある新たな食材や生産法を提案・実践できる人材をめざす

卒業後の進路

農畜産関連	製造，技術	団体職員等	進学
農業法人／商社／飼料会社	食品会社／種苗・種畜会社	地方自治体／公務員	宮城大学大学院／他大学大学院 海外留学等

Graduates【卒業生の活躍】

社会で活躍する卒業生

初心，学び，仕事。
すべてがつながっている。

日本ハム食品株式会社 関東プラント
製造1部チルド製造課 主任
芳賀圭太さん（2015年3月修了）

私は養豚業を営む叔父の影響で，自分で作る商品を，自信を持って“おいしい”と薦められる仕事に就きたいと思い，食品の生産・加工〜流通・消費まで学べる宮城大学へ進みました。大学では動物の生産・飼養を専門に学びながら，食品加工について幅広く学んで興味を広げたことが，現在所属する食品メーカーへの就職につながっています。
現在はハンバーグ製造工程管理の業務に従事し，商品開発や品質保証など多くの部署と協力しながら，安全・安心・おいしいハンバーグを効率的に生産できるように機械の調整や出来高の管理を行っています。大学の学びや研究を通して原因追究・挑戦を繰り返してきた経験が，こうした製造行程管理における問題解決力の基盤になっていると感じています。

進路データ

進路データ　　**主な進路実績の一例**（順不同）

製造業	31.9%	㈱ヤヨイサンフーズ / スターゼン㈱ / 住商アグリビジネス㈱ / 日東ベスト㈱
卸売・小売業	19.1%	㈱パールライス宮城 / カメイ㈱ / みやぎ生活協同組合 / ヤンマーアグリジャパン㈱
農業・林業	10.6%	（公社）日本食肉格付協会 / 森永酪農販売㈱ / ㈱シムコ / 中村農園（自営業）
金融業・保険業	8.5%	古川信用組合 / ㈱七十七銀行 / 東京海上日動火災保険㈱
複合サービス事業	6.4%	JA全農北日本くみあい飼料㈱ / なんと農業協同組合 / はが野農業協同組合
公務	4.3%	宮城県（農業）/ 北上市 / 東北農政局
情報通信業	4.3%	㈱三陸新報 / ㈱アイエスエフネット
学術研究，専門・技術サービス業	4.3%	アース環境サービス㈱ / 三国屋建設コンサルタント㈱
漁業	2.1%	㈱カネダイ
進学	8.5%	宮城大学大学院食産業学研究科 / 東京農工大学大学院農学府生物生産科学専攻

進路データは，2019年3月19現在 ファームビジネス学科の実績（一部，環境システム学科の実績含む）を掲載。食産業学部の進路データはWebからご確認ください

フードマネジメント学類

Eat to live? Live to eat?

食べることは人間の生命維持だけでなく，人生の充実にも関わり深い。

米や麦，肉や野菜などの食材がおいしく安全で，栄養にあふれた食品となり，

人の血となり肉となるまでの全過程を，科学・技術とビジネスの両面から学ぶ。

Change the world !! 世界の食産業を支える「食」のスペシャリストになろう

フードマネジメント学類では，食に関する広い知識を学ぶことができます。3年次には，より専門性の高い科目を学ぶために，フードビジネスコースとフードサイエンスコースに分かれて学びます。一方コースを超えた履修も可能で，「食」を通じて「文理融合」を学ぶことができます。さらに4年次には，4年間の集大成として卒業研究を行い，両コースの学生が参加する発表会が催され，学生同士の活発な質疑応答も行われます。
授業や課外活動の一環として，県内外の企業等と共同で「商品開発」も行っており，食に関してより実践的に学ぶこともできます。これまで，学生が酒造実習で製造した清酒やお弁当の開発，地元ホテルや大手コンビニチェーンと共同開発したスイーツ，さらに自治体と「ゆず」を使った商品の開発も行っております。

フードマネジメント学類 学類長
金内誠教授

マーケットのわかる技術者，技術のわかるマーケッターを育てる

Classes【授業紹介】

1. 農産食品学

食事の大部分を占める農産食品

皆さんは農産食品のことをどれだけ知っているでしょうか。米はそのまま食べるのに，小麦はなぜ粉にするのかなどを明らかにします。

1

2. 専門基礎実験

食品成分や微生物の取扱いを学ぶ

加工食品には必ず記載されている食品成分の分析方法や，発酵食品に欠かせない酵母や麹菌の培養方法と性質を実験を通して学びます。

2

3. フードコミュニケーション

安全な食品を安心して食べるとは

食品の「安全」と「安心」は異なります。消費者の心理的な判断である安心と科学的な評価である安全をコミュニケーションでつなげます。

3

4. 食料・農業・農村政策

今日の食料・農業・農村政策

複雑多岐にわたる食料・農業・農村政策を歴史的に振り返り，その今日的必要性を検討・評価し，その現代的な意義を学びます。

4

高橋愛佳さん
秋田県立大曲高等学校出身

Student Voice

食の第一線で活躍する先生に学ぶ。

食のエキスパートであるそれぞれの先生から，日本や世界の食産業に関する専門的な知識や事例を学べることは，とても刺激があります。さらに，より実践的な実習・実験を通して，講義で学んだ知識を自分の五感を使って活かせることは，より深い理解と経験につながっていると実感しています。

取得できる資格

食品衛生監視員
食品衛生管理者
HACCP管理者
食の6次産業化プロデューサー

フードマネジメント学類で，卒業または特定の科目の修得によって学修分野に関する上記の資格が取得できる予定です。

MYU labs【研究室紹介】

島津研究室

乳酸菌を食べて健康な生活を過ごそう

乳酸菌の健康増進作用について研究を行なっています。色々な効果が認められる乳酸菌ですが，全てが同じ効果を持つわけではありません。では，一体何がその違いを生むのでしょうか。こういった疑問に答えを出し，新たな機能が付加された乳酸菌の発掘から，商品開発を目指します。

谷口研究室

持続可能なフードシステムの発展を目指して

地球環境問題の悪化が懸念される中，農業やフードシステムの持続可能性を高めることは国際社会にとって喫緊の課題となっています。谷口研究室では環境に配慮してつくられるオーガニック食品の流通や消費の研究を通して，持続可能なフードシステムの構築に必要な方策を探求します。

フードマネジメント学類：4年間の学び

Curriculum【4年間の学び】

1年次

前期
「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ
大学での学びに必要な基礎的なスキルを身につける

後期
年次末に学類配属

2年次

前期
専門基礎科目，専門科目を学ぶ

後期
各コースに共通科目を学ぶ
食産業をビジネスとサイエンスの両面から理解するための基礎学力を身につける
［開講科目例］ ●食材生産概論 ●食材生産・加工実習I ●有機化学 ●経済経営学基礎

コースを選択

3年次

前期
コースごとに，より専門性の高い科目を学ぶ

フードビジネスコース
フードビジネスの専門知識と
フードサイエンスの基礎知識を学ぶ
食品産業や食品企業を健全に発展させる
ビジネスリーダーをめざす

フードサイエンスコース
フードサイエンスの専門知識と
フードビジネスの基礎知識を学ぶ
食品産業において新たな技術開発を
リードする技術者をめざす

後期
［開講科目例］ ●食料・農業・農村政策 ●栄養科学 ●食品衛生学

［開講科目例］
●食料経済論 ●食品企業経営戦略論
●フードサービス産業論 ●ローカルフードシステム論
●フードシステム調査演習 ●食品企業経営戦略演習

相互に
科目選択可能

［開講科目例］
●発酵食品・醸造学 ●食品工学
●食品貯蔵・流通技術論 ●調理科学
●食品栄養・機能学実験

4年次

前期
卒業研究を中心に，実践的な課題に取り組む機会が増える
［開講科目例］ ●卒業研究 ●食と未来

後期
卒業論文発表会＝4年間の学びの集大成

卒業後の進路

食品製造
機能性食品／新食品開発
製造／品質管理／研究

食品流通
バイヤー／マーケティング
品質保持

フードサービス
外食中食のメニュー開発
営業／店舗運営

進学
宮城大学大学院／他大学大学院
海外留学等

社会で活躍する卒業生

Graduates【卒業生の活躍】

大学は，自分の考え方の幅をひろげるチャンス。

株式会社菓匠三全
佐藤有希子さん（2013年3月卒業）

お菓子の企画から製造・販売まで一貫して行う現在の会社に入社したキッカケは，地元に貢献したいという想いに加えて，人生の節目や季節を彩るお菓子を通じて，たくさんの人を笑顔にできる仕事に魅力を感じたことです。現在は主に商品の企画・開発を担当していますが，大学時代に食品の生産から加工，流通，お客様に届くまでの一連の流れを幅広く学んだことで，それが自分の強みとなり，現場でさまざまな視点から商品を企画できていると感じます。
お客様の声を直接聞く機会はなかなかありませんが，店舗を通してお客様の喜ぶ様子を感じられた時は，とてもうれしくなります。今後もさらに美味しいお菓子を開発し，一人でも多くのお客様に喜んでいただけるように努めていきたいです。

進路データ

進路データ

主な進路実績の一例（順不同）

製造業	45.0%	一正蒲鉾㈱ / 伊藤ハムデイリー㈱ / ㈱鐘崎 / ㈱菓匠三全 / ㈱佐浦 / ㈱にしき食品 ㈱原田・ガトーフェスタ ハラダ / ㈱ヤマダフーズ / ㈱ヤヨイサンフーズ / 太子食品工業㈱ 日東ベスト㈱ / 日本食研㈱
卸売・小売業	25.4%	青木フルーツホールディングス㈱ / ㈱ファミリーマート / ㈱ユニパース / 国分東北㈱ / 三井食品㈱
運輸業，郵便業	3.9%	㈱マルハニチロ物流 / ジェイティ物流㈱
金融業・保険業	3.9%	㈱七十七銀行
情報通信業	3.9%	三谷産業㈱ / ヤマトシステム開発㈱
複合サービス事業	3.9%	仙台農業協同組合 /JA 東日本くみあい飼料㈱
学術研究，専門・技術サービス業	2.0%	㈱メタジェン
教育，学習支援業	2.0%	㈱ Global Assist
宿泊業，飲食サービス業	2.0%	
生活関連サービス，娯楽	2.0%	クラブツーリズム㈱
公務	2.0%	
他サービス業	2.0%	㈱ジェイテック
進学	2.0%	宮城大学大学院食産業学研究科

進路データは，2019年3月19日現在 フードビジネス学科の実績を掲載。食産業学部の進路データはWebからご確認ください

国際交流・海外ネットワーク

PUSH, PULL, and GROW.

国際交流は，①学生を海外の異文化空間に（PUSH），②留学生・異文化空間を宮城大学に（PULL），そして③海外だけでなく日本のキャンパスでも異文化理解力を醸成する（GROW），これらをコンセプトに学生が教職員とともに「ワクワク感」をもってグローバル・ステージで活躍できるよう国際交流を進めています。このように，宮城大学では，協定校をはじめとした海外留学，海外からの留学生の受け入れ，キャンパス内に設置したグローバルコモンズでの異文化交流などを通して，一年中「グローバル」を体験することができます。

宮城大学の海外ネットワーク 2019年3月時点

■学生の海外派遣（主な留学先）
フィンランド，米国，ベトナム，オーストラリア

■海外留学生の主な出身国
中国，韓国，ベトナム，マレーシア，モンゴル

国際交流・海外学修プログラム

宮城大学海外交換留学支援プログラム

アーカンソー大学フォートスミス校（米国）やトゥルク応用科学大学（フィンランド）など海外協定校において，1学期もしくは1年程度，原則として本学での専攻を生かした教育プログラムを履修することができます。英語によるコミュニケーションスキルの向上のみならず，現地の文化や習慣，専攻分野での知見を深めることにより，将来グローバル・ステージで活躍できる有能な人的資源として必要な能力を獲得することを目指します。

リアルオーストラリア

学生に人気の高いオーストラリアで約2週間，協定校であるサザンクロス大学などにおいて，英語・文化研修を実施するほか，現地企業訪問を行います。単なる英会話ではなく，英語を通して現地の社会経済状況を学修し，PBL（問題解決型学習）の手法も活用しながら実践的なプログラムを構築しています。この短期研修を体験することで，社会でも通用する積極性や協調性，グローバルコミュニケーション能力などを養います。

大学院 Graduate School

学びをさらに深め，高度な研究能力を養う充実した環境があります。

看護学研究科

博士前期課程
基盤看護学分野
成熟期看護学分野
次世代育成看護学分野
広域看護学分野
博士後期課程
生涯健康支援看護学分野

事業構想学研究科

ビジネスマネジメント領域
ビジネスプランニング領域
空間デザイン領域
情報デザイン領域
産業・事業システム領域
地域・社会システム領域

食産業学研究科

食品イノベーション領域
・食品ビジネスマネジメント分野
・食品技術開発分野
農環境イノベーション領域
・ファームマネジメント分野
・環境マネジメント分野

学生数

学群（学部）	学類（学科）	1年	2年	3年	4年	合計
看護学群(学部)	看護学類	98	102	105	93	398
事業構想学群(学部)	事業計画学科		3	110	112	225
	デザイン情報学科		4	105	107	216
	学類未配属者	179				179
	事業プランニング学類	12	64			76
	地域創生学類	10	61			71
	価値創造デザイン学類	9	82			91
食産業学群(学部)	ファームビジネス学科		1	45	48	94
	フードビジネス学科		3	51	56	110
	環境システム学科			36	32	68
	学類未配属者	111				111
	食資源開発学類	9	62			71
	フードマネジメント学類	9	63			72
					合計	1,782

研究科	課程	1年	2年	3年	合計
看護学研究科	博士前期課程	8	15	–	23
	博士後期課程	4	2	7	13
事業構想学研究科	博士前期課程	9	13	–	22
	博士後期課程	1	3	8	12
食産業学研究科	博士前期課程	7	9	–	16
	博士後期課程		2	4	6
				合計	92

※2018年度学校基本調査から抜粋

入学金・学費・奨学金 学費・入学時における学生諸経費（2018年度実績）

入学金	県内出身者	282,000円
	県外出身者	564,000円
入学時学生諸経費	看護学群	67,004円
	事業構想学群	47,660円
	食産業学群	47,660円
	※研究科(保険料のみ)	2,430円～13,500円
授業料	年額	535,800円（前期・後期，半額ずつ納付）
	納付時期	［前期］4月30日（2018年度は5月31日） ［後期］10月31日

授業料の減免等制度（2018年度時点）

減免	一定基準以上の成績及び経済的要件を満たす場合，申請により，全額又は半額免除される場合があります。
分割納付	経済的理由で授業料の一括納付が困難な場合，申請により，分割納付を認める場合があります。
納付猶予	経済的理由で授業料を指定納期までに納付することが困難な場合，申請により，納付猶予を認める場合があります。

奨学金制度（独立行政法人日本学生支援機構奨学金）

独立行政法人日本学生支援機構奨学金
高校等での予約採用以外は，毎年4月に説明会を行い，奨学生を募集します。
貸与金額等の詳細は，日本学生支援機構Webサイトをご確認ください。

日本学生支援機構Webサイト
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html

※貸与期間：採用年度から標準修業年まで。
※高校等での予約採用以外は毎年4月に説明会を行い奨学生を募集します。

その他の奨学金
各種団体等の奨学金は，随時学内掲示板等でお知らせします。

MYU SUPPORT
FOR STUDENTS

学生のみなさんが安心して大学生活を送ることができるよう，様々なサポート体制を用意しています。

入試に関する気になること・わからないこと，いつでもご相談ください。

適切かつ円滑な入学者選抜を目指して。
アドミッションセンター

アドミッションセンターは 2017 年 4 月に宮城大学における入試改革に関する事業を推進する目的で設置されました。当センターは，本学のアドミッションポリシーに即した入学者を適切に確保するために，入学者選抜の基本方針の策定，入学者選抜に関する調査研究および入試分析，入試に関する広報活動および相談，入学者選抜の円滑な実施に関する総括を行い，本学の教育研究の充実発展に寄与することを目的としています。

日々の大学生活や学修，健康面など，気軽にご相談ください。

あらゆる面から学生を親身にサポート。
スチューデントサービスセンター

スチューデントサービスセンターは，学生のみなさんの大学生活を支援するセンターです。学修についての支援はもちろん，サークル活動の支援やアルバイトなど大学外での生活についての支援も行っています。大学生として一人ひとりが自主的・積極的に学生生活を送っていくことを支援するセンターです。学生のみなさんの自主的な利用が基本ですが，出席や成績状況などから個別に面談を行うこともあります。

ココロとカラダの両面をサポート。
健康支援室

学生が安心して充実した大学生活を送ることができるように，健康面からサポートしており，大和キャンパス・太白キャンパスの教員・保健指導員・カウンセラーが所属しています。体と心の健康についての疑問や悩みなどがありましたら，一人で抱え込まずに，健康支援室（保健室・学生相談室）へ気軽に相談にいらしてください。相談内容の秘密は守ります。スタッフ一同，学生のみなさんの力になれるよう，共に考えていきたいと思っています。
※障がいを有する学生や禁煙に関するサポートもしています。

学修や研究活動，学生アクティビティなど，幅広くご活用ください。

学術情報コンテンツの集積・発信から独自のソフト事業まで。
学術情報センター（図書館）

学術情報センターは，学術資料の収集・提供を通じて本学の教育・研究支援に取り組むとともに，対外情報発信を行っている機関で，大和・太白図書館を所管しています。学術資料については，紙ベース資料の良いところを活かしつつ，電子化を促進しています。また，学内研究の成果等を集積してデジタルアーカイブ構築を進めています。2014 年からイベント「六限の図書館」を開始するとともに，図書館空間を利用した学修支援と学生アクティビティ，地域に向けた生涯学習機会の提供に努めています。

思い描いているキャリア・将来のこと，ご相談ください。

学生のキャリア形成をトータルサポート。
キャリア・インターンシップセンター

宮城大学では，キャリア形成ビジョンの明確化と，インターンシップを含めたキャリア教育のいっそうの充実を図るため，両部門を統括するキャリア・インターンシップセンターを設置しています。本センターでは，学生のキャリア支援とインターンシップ支援を一元的に行い，学生が自身のキャリアを自ら形成できる充実したサポートを提供するとともに，これらを通して収集された情報を一元化し，「進路選択肢の拡大」「インターンシッププログラムの充実」「企業・機関と大学との連携促進」を進めています。

地域のために，地域とともに。

地域の課題解決，多彩に連携をコーディネート。
地域連携センター

企業や自治体・機関・団体のみなさまのニーズや課題にお応えするために，地域連携センターでは宮城大学の多彩な人材・研究・技術・ノウハウなどを効果的につなぎ，ともに実践することでイノベーションや活性化解決策を生み出すお手伝いをします。そして，産業の発展や魅力的な地域づくりなど可能性をひろげるために，従来の手法や領域にとどまることなく，さまざまな分野での連携に取り組み，宮城大学のミッションである地域への貢献を目指します。

大和キャンパス Taiwa Campus

①本部棟　②ブリッジ棟　③エントランス広場　④交流センター棟　⑤体育館　⑥サークル室棟　⑦材料実験棟　⑧グラウンド　⑨北側駐車場　⑩南側駐車場

太白キャンパス Taihaku Campus

①体育館　②テニスコート　③レストラン棟　④南サークル棟　⑤北サークル棟　⑥動物代謝棟　⑦畜産棟　⑧駐車場　⑨管理棟　⑩学生会館メモリアルホール40
⑪多目的ホール　⑫講義棟　⑬ガラス温室　⑭運動場　⑮実験棟　⑯南研究棟　⑰北研究棟　⑱食品加工棟　⑲水利実験棟　⑳リサイクル棟　㉑材料実験棟　㉒水産実験棟

OPEN CAMPUS 2019

MYU OPEN CAMPUS 2019

7/15 MON 大和キャンパス 看護学群・事業構想学群　7/21 SUN 太白キャンパス 食産業学群　9:00 OPEN–9:30 START（15:30 終了予定）

大和キャンパス

大学本部／看護学群／事業構想学群
大学院看護学研究科／大学院事業構想学研究科

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1
宮城大学事務局（大学全般）Tel 022-377-8205（代表）Fax 022-377-8282

○仙台市地下鉄
南北線「仙台駅」から約 15 分，「泉中央駅」下車。バスに乗り換え

○バス利用
「泉中央駅」バスプール 3 番又は 6 番から，宮城交通バス
「泉パークタウン」行き（宮城大学経由）で約 30 分～ 35 分，
「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」下車

「仙台駅前」バスプール 2 番から，宮城交通バス「宮城大学」行きバスで約 50 分，
「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」下車

太白キャンパス

食産業学群／大学院食産業学研究科

〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立二丁目 2 番 1 号
宮城大学事務局（太白事務室）Tel 022-245-2211（代表）Fax 022-245-1534

○仙台市地下鉄
南北線「仙台駅」から約 15 分，「長町南駅」下車。バスに乗り換え

○バス利用
「長町南駅・太白区役所前」バスプール 4 番から，宮城交通バス「日本平」行き
又は「仙台南ニュータウン」行きで約 20 分，「宮城大学食産業学部前」下車

「仙台駅前」バスプール 7 番から，宮城交通バス「日本平」行き
又は「仙台南ニュータウン」行きで約 40 分，「宮城大学食産業学部前」下車

Routes to Campuses［アクセス］

アンケートご協力のお願い
宮城大学ではみなさまのニーズに合った適切な情報発信を目指しています。
大学案内に関して左記 QR コードより，アンケートのご協力お願いいたします。

宮城大学 大学案内 2020
編集・発行：宮城大学 広報専門部会／デザイン：株式会社フロット
撮影：渡辺然（Strobelight），株式会社フロット／印刷：田宮印刷株式会社

宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY